

水 技術

ウィスコンシン州



世界的な水の拠点であり、企業は年間で

157億ドル

の年間売上を上げています

ウィスコンシン州では、水技術に独自に適する比類のない利点を提供します。

労働力。ウィスコンシン州には最先端のスキルを持ち、最先端の教育を受けた水技術に関する専門家がいるのに加えて、製造業に携わる労働者が米国で2番目に多くいます。

中心的な立地。米国の中心部から、北米全体の市場への迅速なアクセスを提供します。シカゴとそのオヘア空港は、州境から1時間以内の場所にあります。そして、私たちの十分に発達したロジスティクス部門は、鉄道、陸路、空路、または水路を介して効率的に商品を市場に送り出します。

学問的な卓越性。私たちは理論科学と応用科学の限界を押し広げ、将来に向けて有能な人材を育成します。主要大学であるウィスコンシン大学マディソン校は、年間10億ドルを超える研究費で米国8位に位置しています。ウィスコンシン大学群は、年間36,000以上の学位を授与しています。

自然災害のリスクが低い。地震や山火事から、熱波、竜巻、ハリケーンなどの気候の脅威まで、考えられるあらゆるタイプの災害リスクが非常に低いです。

財政的責任。全額出資の州年金制度（米国で2つのみ存在する国営年金制度の1つ）から並外れた信用格付けまで、政治的に安定しており、低税低規制で、ビジネスを歓迎するような環境を提供しています。

先端製造技術、エネルギー、電力、制御、水技術、飲食業、バイオヘルスといった重要な産業部門のグローバルリーダーが、北米市場への入り口としてウィスコンシン州を選ぶ理由を見ていきましょう。

230社以上の

水技術に携わる企業



23,000人以上の

水技術産業に関与する従業員





成功のために強化された労働力

Ernest Spaight Plazaにあるウィスコンシン大学ミルウォーキー校の淡水科学部の噴水は、キャンパスの目印です。

ウィスコンシン州の人口

580万人

高校の卒業証書

93%の成人が取得

学士号以上

31%の成人が取得

平均通勤時間

23分

ウィスコンシン大学システムは、13のキャンパスで、および州全体で水の知識と研究を活用し、ユニークな地域の強みを基盤に、**ウィスコンシンの淡水共同研究**を作り出しています。この共同研究は、学生、教職員、産業界を、研究、思考リーダーシップ、および実践的な経験に従事させ、農業用水の管理、水質、安全性、新たな汚染物質などの工業用水工学および技術、五大湖の管理と復旧、水インフラ（収集、配水、処理）、水事業と財政、および流域の管理と復旧といった世界的な水問題に取り組みながら共同研究および学位の機会を提供するよう設計されています。

学問的な卓越性

ウィスコンシン州では、州の大学が研究と技術の商業化をリードしており、パートナー、企業、政策立案者が、市場のニーズを満たすような新しく革新的な製品を開発できるようサポートしています。例えば：

ウィスコンシン大学 (UW) マディソン校および**ウィスコンシン大学 (UW) ミルウォーキー校**はどちらも最上位の研究大学です。ウィスコンシン大学マディソン校は米国で8位にランクしており、2019年度には研究費として約13億ドルの研究費が費やされています。

ウィスコンシン大学マディソン工科学部は研究への支出において上位10校にランクしており、世界ランキングでも上位に位置づけられています。センターオブエクセレンスは、コンピュータ、データおよび情報科学といった先端的な題材およびIoTの研究を専門としています。

ウィスコンシン大学ミルウォーキー校のエンジニアリングおよび**応用科学**は、米国の研究大学の上位2%に入っています。

淡水科学部は五大湖の最大の学術研究機関であり、淡水問題に専念している北米で唯一の大学院です。

国立科学財団による産業・大学共同研究センタープログラム、(UWMマーケット校)や**水技術促進共同研究**(淡水科学部、ウィスコンシン大学マディソン校の工科学部と応用科学部、ウィスコンシン大学ホワイトウォーター校、およびウォーターカウンシルの共同研究)などの共同プログラムが、業界の課題を解決するために最新の知識を活用しています。

ウィスコンシン州は、30校の主要な公立および私立の教育機関で、水に焦点を当てた50以上の様々な学位プログラムを備え、水知識経済の最前線に立っています。



2020年に

5,000

人以上が、工学学士および認定証を取得

強固な産業。 テクノロジースマート。 将来への万全な準備。



“優れた水管理と戦略に関する画期的なアプローチのために水のあらゆる側面に触れるような、水技術ビジネス、イノベーション、学術パートナーの集中クラスターとってすぐに頭に浮かぶのは、ウィスコンシン州に拠点を置くパートナーとの互いに関連し合う緊密なネットワークです。

-Will Sarni



ウィスコンシンには、

1.2

(千兆)ガロンの地下水
があります



86%

のウィスコンシンの
州境は水です

グローバルなリーダーシップ

ウィスコンシン州の水技術の拠点を固定するのはウォーターカウンスルです。ウォーターカウンスルは、淡水技術の革新をサポートし、それらを必要とする業界にそれらの新しいソリューションを推進することにより、重大で世界的な水問題を解決することに専念する業界主導の非営利団体であり、米国でこの種をリードする組織です。

その生まれはグローバルウォーターセンターという、世紀末前後のレンガ造りの倉庫が2013年に最先端の水道事業および研究施設に転換したセンターで、現在では40以上の水を中心とした企業、新興企業、学術研究機関があります。これにはオアシス共同作業コミュニティという、ウィスコンシン州にやって来る企業に「ソフトランディング」スポットを提供し、水関連のクラスター内でのコネクションをすぐに作れるようにするスペースを含みます。

ウィスコンシン州の主要な水技術企業：





21%

世界の新鮮な水の21%がウィスコンシン州境にあります。



米国の「五大湖地域」に沿って位置するウィスコンシン州は、ミシガン湖の海岸からシカゴまで広がる水技術の回廊地帯の一部です。ウィスコンシン州に拠点を置くという選択により、ウィスコンシン州のビジネス環境におけるあらゆる利点と活気に満ちた水クラスターでの潜在的なコラボレーションの機会を得られるだけでなく、米国で3番目に大きい大都市圏における何百万もの潜在的な顧客にアプローチすることもできます。

ソースと出典の詳細については、InWisconsin.com/industrydataを参照してください。

「ミルウォーキーは水の拠点です。」

-フォーブス誌

ウォーターカウンスルには、起業家のための複数のプログラムがあり、その業界の企業がこれらの起業家ネットワークに繋がり、革新的なアイデアから恩恵を得ることができます。これらのプログラムの中で、**BREW**（水に関連するビジネス、研究、起業家精神。）淡水シードアクセラレータが、世界のどこからでも有望な水技術イノベーターが市場採用の成功への道に勢いをつけ続けるのを助けるように設計された、世界的な水技術ハブの次世代後段促進プログラムBREW 2.0へと進化しました。

2013年にBREWがオープンして以来、60社のスタートアップ企業がプログラムを完了し、そのうち**85%**が現在なお営業しています。

BREWの卒業生は：

- **3,600万ドル**の資本と**1,600万ドル**の追加資金を調達し、**1,500万ドル**の売上高を生み出しました
- **100件**以上のパイロットを実施しました
- **24件**の特許を取得し、さらに**34件**の特許を申請中です

ウォーターカウンスルは、グローバルウォーターテックハブアライアンスに参加している米国からは唯一の参加団体です。さらに、以下の国の組織との覚書に署名し、国際的なパートナーにとって米国での主力組織となっています。



オランダ



フランス



英国



ドイツ



イスラエル



中国



韓国



スペイン

ウォーターカウンスルは、**ウォーターリーダーズサミット**という、水技術の専門家のための卓越した北米のイベントをミルウォーキーにて毎年主催しています。

ウィスコンシン州は、人材、テクノロジー、サプライチェーン、ロケーション、インフラなど、あなたのビジネスが成長するために必要な理想的なビジネス環境とあらゆる要素を提供します。

詳細については、InWisconsin.comにアクセスしてください。